

# ゲノム問題検討会議第5回シンポジウム

## 現代生命科学と「新しい優生学」

### —人間を作り変える医療はどこへ向かうのか?—

ゲノム編集という従来考えられなかった、正確に狙った位置でDNAを切断して、遺伝子を壊す新しい遺伝子操作技術の登場で、まだ基礎研究に限定しているとはいいいながら、受精卵の遺伝子を改変する試みが始まりました。これまでタブーとされていた人間の受精卵への介入は、それが次世代に受け継がれていくこととなります。こうした医療は子どもを選び、ひいては人を作り変えようとする医療です。人間による人間の改造という問題を提起しています。

これまで過去の話として語られてきた優生学が再び頭を持ち上げてきており、社会全体で是認する風潮も出てきています。そのような状況の中にある時、生命の始まりへの介入が始まると何が起きるのでしょうか。どのような社会をもたらすのでしょうか。

今回、このシンポジウムを通して皆様とともに考えてみたいと思います。

記

- 【日時】** 2018年2月18日(日) 13:30～16:30 13時 開場
- 【会場】** 日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール (大ホール)  
[http://hibiyal.jp/hibiya/guide\\_13.html](http://hibiyal.jp/hibiya/guide_13.html)  
(東京メトロ 丸の内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」、JR「新橋駅」)
- 【テーマ】** 現代生命科学と「新しい優生学」  
—人間を作り変える医療はどこへ向かうのか?

総合司会 島菌 進さん (上智大学大学院実践宗教学研究科教授)

#### ◆講演

講師 松原 洋子さん (立命館大学大学院・先端総合学術研究科教授)

テーマ 優生学と人間社会 生命科学の世紀はどこへ向かうのか

13時40分～ 14時40分

講師 久具 宏司さん (東京都立墨東病院 産婦人科部長 日本生殖医学会生殖医療専門医)

テーマ 着床前診断の倫理的考察

14時40分～ 15時40分

◆休憩 15時40分～ 15時50分

#### ◆パネルディスカッション・質疑応答

パネリスト 松原洋子さん、久具宏司さん、天笠啓祐さん (DNA問題研究会会員)、島菌進さん

15時50分～ 16時40分

**【資料代】** 1000円

主催 ゲノム問題検討会議 共催 DNA問題研究会

問合せ先 神野玲子 携帯番号 090-2669-0413 E-mail jreikochan@yahoo.co.jp